

令和 5 年度 自己評価結果公表シート

学校法人 梅風学園 福島幼稚園

1、本園の教育目標

鎮守の杜に囲まれた静かな環境の中で、日本古来の伝統文化も行事に取り入れながら 基本的な生活習慣・行儀を身につける。集団生活の第一歩として他人との関わりを学び、明るく
のびのびと、かつ情操豊かな人間に成長することを目指している。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

昨年に引き続き、保育者はじめ職員一同が自園の教育方針を再認識し、教育内容の改善に積極的
に取り組むことを目標とする。教職員の共通理解を図り、資質向上に努めるとともに、
家庭との連携に重きをおき、より充実した幼児教育を目指す。

3、評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	取 組 状 況
教育課程	少人数であることを生かし、歳児・担任クラスに関係なくどの園児のことも把握し、全教職員でひとりひとりの成長にあった保育に取り組む。
危機管理	従来の避難訓練と合わせて消防署による指導も含め、津波等大災害の想定、避難場所の確保（近隣の高層ビル等）の見直しを図り、何をおいても園児の安全を第一に考える。
組織運営	笑顔で明るくこどもたちと関わりがもてているか、服装・髪型等 相応しい身だしなみ、言葉遣いをしているか自己点検を怠らない。
家庭との連携・子育て支援	懇談において、悩み事・不安等に耳を傾け幼稚園と連携することによって如何に心の負担を軽く育児に携わっていけるかという場の設定を継続していく。 保護者との意思疎通を大事にする。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園の方針を全教職員がしっかりと認識をして、それぞれに自己点検・自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今後も客観的な目で教育、保育を振り返り、更に充実した実践ができるよう努力をする。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全管理	さらなる危機管理意識を高めると共に、冷静沈着な行動を取るための知識を持つ。
子育て支援・特別支援教育	家庭・福祉機関・医療機関との連携に努め、相談等をしやすい環境をさらに整える。
資質向上	園外研修にも今以上に積極的に参加する。また、参加できる環境を整える。

6、学校関係者の評価

創始者の教育方針を変えことなく、質の高い保育が実践されている。
はじめのある園児達の態度は高く評価できる。時代の流れに沿いながら、伝統も重んじている。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。